

1) ヒアリング

今回、お話を伺う3人の方を推薦者から紹介

祖父江紘一氏（元 萩原二子町内会長 現職時に町内会の法人化で尽力）

神谷 勝氏（現 西成地域づくり協議会副会長）

河本 次男氏（現 老人会所属）

それぞれの方に、町内会における現状の活動、課題、展望等について、お話をいただきました。

（1人15分程度）

（祖父江氏）

- ・平成5年に初めて、萩原・二子町内会長となりました。平成15年に再度、町内会長となりました。平成15年に町内会長となった時に、墓地の整備をしなくてはならなくなったことがきっかけで、町内会の法人化について携わりました。最初、墓地建設プロジェクトを作っ
て、3年間で仕上げた時のノウハウを生かして、法人化についても、取り組みました。規約も作成し、全世帯に配付しました。町会長の職を離れた後も、総会等には、必ず、出席し、規約の解釈など運用上の問題に関する検討も引き続き、行っています。（詳しくは、別紙参照）

（神谷氏）

- ・定年した際に、町内会の副会長となったのが、町内会に携わったきっかけです。現在は、西成地域づくり協議会の副会長などの役についています。西成連区地域づくり協議会は、23連区の中のまちづくりのさきがけとして、平成20年5月2日に設立総会を経て、6部会に分かれて、活動しております。アンケートを町内会にとり、4つのキーワード「安心」「安全」「連携」「自立」を設定し、6つの部会を作りました。とりわけ、広報部会を重要なものとして位置づけ、回覧板ではなく、各団体の文書を色別に分けて、簡単なものを回数を増やして配布するなど工夫しています。今までのひもつきの予算から、自分たちで予算を各団体に配分していく必要があり、従来の考え方から切り替えていただくよう、働きかけています。

（河本氏）

- ・梓入町内会の老人会に入っております。アダプトプログラムを月2回行っています。町内にもいろいろ問題があるのではないかとということで、町内会といろいろな話し合いをもっています。おとしから、防犯に力を入れています。防犯灯をつけたり、パトロールを月4回行っています。また、一宮市の事件・事故のデータを毎月いただいて、町内に回覧板でお知らせしています。子どもの通学時に自主的に道路に立って、見守っています。ごみの問題も老人会が主体となって、アルミだけでもということ、選別しています。町内会とも老人会は、連携をとっています。また、子ども会で必要な備品等の検討も老人会が行っています。

<ファシリテーターより質問>

祖父江さんと神谷さんには、組織の中心をお聞きしましたので、現場の活動について、お聞きしたい。また、河本さんには、運営する上での問題点があれば、教えていただきたい。

(祖父江氏)

- ・ 法人化して、3年が経ちました。法人化に関わった3年間に限って言えば、さまざまな話し合いをし、適材適所の人たちをお願いして、物事を進めていきました。

(神谷氏)

- ・ 各部会が15名前後で構成されており、いろいろな代表の経験者の中から選ばれています。私は、副会長ということで、会長の補佐をしています。6部会それぞれの活動の中でさまざまな問題も出てきますので、これからが課題です。

(河本氏)

- ・ 町内会では、組織図が作っており、何か問題があった時には、すぐ連絡がつくようになっている。また、4月に、ごみの出し方が変わってから、町内では、毎日だれかが、どこかからごみを出すような状態になっており、なんとかならないかという問題を抱えています。